

美味しいがいっぱい!



1月26日、海と山のさまざまな食材が用いられた自慢の料理が勢ぞろいする「第7回かみのに食遊祭」が町民体育館にて開催され、約1200人の方々が訪れました。

会場では、町内外から参加した20店舗が会場を囲むように並び、ステージでは鼓友会による龍焰太鼓や上ノ国・江差中学校合同での吹奏楽演奏も行われ、大きな拍手やアンコールが送られるなど盛り上がりっぱなしでした。



また、天河（テガ）一品味くらべ総選挙では、時間をかけて煮込み、素材の旨味を引き出すことに力を入れたという「牛筋の黒胡椒煮込み」が最も多くの票を獲得して見事1位となり、2位には甘いあんこが自慢の「おしるこ」、3位には今が旬のごっこを使った「ごっこ汁」がランクインしました。

来場者は、各店舗の自慢の一品を味わい、迫力あるアトラクションも楽しむなど、食遊祭を満喫していました。

実り多き一年に向けて



1月10日、1年の始まりを祝う上ノ国町新春の集いが開催され、会場を訪れた約180人の方々が、ともに新年をお祝いしました。

集いでは、工藤町長が新年の挨拶の中で、新たな風車による電力生産の開始や漁業資源の再生、1次2次産業への補助制度などを実施することで、町内の産業を活性化し、子や孫へ素晴らしい上ノ国を残すため頑張りたいとの抱負があり、出席した方々は歓談の席で昨年の出来事を振り返ったり、今年の意気込みを語るなど、和やかな雰囲気の中、新年の門出を祝いました。

寒さを吹き飛ばす!



1月12日、大寒波により気温が零度を下回るなか、毎年恒例の空手道スポーツ少年団の新年寒稽古が上ノ国地区の海岸で行われ、30人が参加しました。

最初に上ノ国八幡宮を訪れた参加者は、一年の無病息災を祈願すると海岸へと移動し、最初は風と波の冷たさに声も上がりましたが、稽古の号令とともに海へと踏み出して、年明け一番の寒さをものもしない気合のこもった掛け声で寒稽古を行いました。